

1995年1月の阪神・淡路大震災から27年 ～地震保険への加入と防災・減災をすすめましょう～

1月17日、阪神・淡路大震災から27年が経過しました。兵庫県では約24万棟の家屋が全半壊し、家屋の倒壊等によって多くの尊い命が奪われました。

改めて、犠牲になられた方々とそのご遺族の皆様に対し、哀悼の意を表しますとともに、心よりご冥福をお祈りいたします。

当時の地震保険の普及状況（世帯加入率）は、地震保険制度創設以来の最低水準である全国平均7.0%、兵庫県では全国平均を大きく下回る2.9%という状況の中で未曾有の大災害が発生しました。

現在、世帯加入率は全国平均33.9%、兵庫県では32.3%となっており地震保険普及の増加傾向が続いています。また、兵庫県の住宅の耐震化率も90.1%と耐震改修工事や旧耐震基準の住宅の除去・建替えが行われている状況です。

過去の大災害を教訓として、日本全国いどこで起こるかもしれない地震災害に備え、地震保険への加入と防災・減災をすすめましょう。わたくしたちは、今後とも、地震・噴火・津波の備えとしての地震保険が生活再建の力になることをお伝えすると同時に、ご家庭での地震防災・減災について呼びかけを行います。

1. 阪神・淡路大震災の概要

1995年1月17日午前5時46分、淡路島北部を震源とするマグニチュード7.3の地震が発生し、神戸市や淡路島の一部地域では震度7に相当する揺れとなりました。

大都市を襲った直下型地震により、死者・行方不明者は6,437人、負傷者は4万人を超える大災害となりました。

気象庁はこの地震を「平成7年（1995年）兵庫県南部地震」と命名し、政府はこの災害を「阪神・淡路大震災」とすることを閣議了解しました。

<1.17 希望の灯り>



1.17 希望の灯り 碑文

1995年1月17日午前5時46分 阪神・淡路大震災

震災が奪ったもの命 仕事 団欒 街並み 思い出
・・・たった1秒先が予見できない人間の限界・・・
震災が残してくれたもの やさしさ 思いやり 絆 仲間
この灯りは 奪われた すべてのいのちと
生き残った わたしたちの思いを むすびつなぐ

出典：神戸市ホームページ「慰霊と復興のモニュメント1.17 希望の灯り」及び「阪神・淡路大震災 写真から見る震災 1.17」より

<https://www.city.kobe.lg.jp/a56164/bosai/hanshinawaji/fukko/monument.html>

<https://www.city.kobe.lg.jp/a44881/bosai/disaster/earthquake01/earthquake03/index.html>

2. 阪神・淡路大震災での地震保険再保険金支払い状況

2021年3月末現在

地震名	地震発生日	地震規模	再保険金	
			支払件数	支払再保険金
平成7年(1995年)兵庫県南部地震	1995年1月17日	M7.3	65,427件	783億円

- ・地震保険は地震等による被災者の生活の安定に寄与することを目的として、政府と民間損害保険会社が共同して運営する保険です。
- ・支払再保険金783億円のうち、政府は61億円、当社を含む民間損害保険会社は721億円を負担しました。

3. 現在の地震保険の契約状況

(1) 地震保険の世帯加入率

全国平均	兵庫県
33.9%	32.3%

(2) 地震保険の付帯率

全国平均	兵庫県
68.3%	66.9%

- ・損害保険料率算出機構ウェブサイト <https://www.giroj.or.jp/> の公表データに基づく数値です。
- ・世帯加入率は2020年12月末保有契約件数を2021年1月1日時点の住民基本台帳に基づく世帯数で除した数値です。
- ・付帯率は2020年度に契約された火災保険(住宅物件)契約件数のうち、地震保険を付帯している件数の割合です。

4. 住宅の耐震化状況(耐震化率)

全国平均	兵庫県
約87%	90.1%

- ・全国平均の数値は、国土交通省「住宅・建築物の耐震化について」の公表データに基づく数値です。
https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/jutakukentiku_house_fr_000043.html
- ・兵庫県の数値は、兵庫県「兵庫県耐震改修促進計画の推進」の公表データに基づく数値です。
https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks29/wd30_000000038.html

5. ご家庭での防災・減災(ご参考)

(1) 住宅の耐震化をすすめましょう

地震防災・減災を進めるためには、まずご自宅が安全かどうか知ることが大切です。お住まいの各自治体では住宅の耐震化に向けた耐震診断、耐震改修の相談窓口を設置していますので是非ご相談ください。

住宅の耐震性能を高めることにより、被害の軽減はもちろん、地震保険では保険料の割引制度により保険料負担を軽減することができます。

- ・各自治体(都道府県、市区町村)のホームページに耐震診断、耐震改修の詳しい内容が記載されていますのでご確認ください。
- ・現在ご契約の地震保険に保険料の割引が適用されているか、ご自宅の耐震性能に応じた割引となっているのかについて確認を行いましょう。ご不明な点がありま

したら、ご契約の損害保険会社、または損害保険代理店へお問合せください。

- 一般社団法人日本損害保険協会 損害保険に関する会員各社相談窓口

<https://www.sonpo.or.jp/soudan/reference.html>

- 一般社団法人外国損害保険協会 会員会社一覧

<https://www.fnlia.gr.jp/member>

(2) 食品の家庭備蓄をすすめてみましょう

災害時に困るのが「食べる問題」です。普段から災害時に備えた食品の家庭備蓄をすすめてみましょう。

農林水産省では「災害時に備えた食品ストックガイド」として、備蓄に適した食品の選び方、ローリングストック法等による日頃の活用方法、災害時に役立つ簡単レシピなどの実践的な内容を取りまとめ公開しています。是非活用しましょう。

- ・ 農林水産省「災害時に備えた食品ストックガイド」

<https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/foodstock/guidebook.html>

当社では、地震保険の付帯率向上と防災・減災の活動を通して、国連サミットで採択された SDGs (Sustainable Development Goals) の達成に向け今後も取り組んで参ります。



以上

*** お問合せ先 ***

 日本地震再保険株式会社

管理・企画部（企画・広報担当）鹿野広幸

電話 03-3664-6078 F A X 03-3664-6169 Eメール kikaku@nihonjishin.co.jp